

令和元年度 比較民俗学会大会 プログラム

愛知大学国際コミュニケーション学会共催
愛知大学教育支援財団協賛

比較民俗学 輝け

日程: 2019年12月7日(土) & 8日(日)

場所: 愛知大学名古屋キャンパス(ささしま)厚生棟3F W31 / 32

●12月7日(土) 13時20分: 大会挨拶 (一般聴講可)

基調講演

13:30- 14:30 小島 瓊禮 (比較民俗学会会長・琉球大学名誉教授)

村々を統合する力 — 白族の「歌垣」と彝族の「旅をする調停役」

14:30- 16:30 共同討議 比較民俗学の未来

<話題提供者>

片 茂永 (愛知大学教授) 蓮華の比較宗教民俗学から東西比較文化論へ

河野 眞 (元・愛知大学教授) 口承文藝研究の視点

— ヘルマン・バウジンガー 『口承文藝の理論』の翻訳刊行にちなんで

西脇 隆夫 (名古屋学院大学名誉教授) 比較民俗学の課題について

— テュルク諸民族を例にして

●12月8日(日) 個別発表

午前の部: 9:20 — 12:00

張 小月 (愛知大学大学院) フォークロリズムから見た漢服運動の考現学

劉 偉 (愛知大学大学院) 青島における茶文化 — 文化としての崂山茶

繁原 幸子 (愛知大学非常勤講師) 供物の餅の変容考

斧原 孝守 (比較民俗学会) 『山神講由来』の問題

何 彬 (首都大学東京教授)・郝雅楠 (首都大学東京、大学院) 屠蘇の今昔

午後の部: 13:00 — 16:10

范 新玉 (愛知大学大学院) 盆栽・盆景に関する芸術人類学的研究

張 玲 (愛知大学ICCS客員研究員) 漢服復帰に見る現代中国の女性民俗の変容

川谷 真 (比較民俗学会) ケンムン・山幸・ガンダルヴァ

繁原 央 (常葉大学短期大学部名誉教授) 豊橋市賀茂町の報徳講

西脇 隆夫 (名古屋学院大学名誉教授) 鹿母夫人から陽光夫人へ

懇親会: 12月7日(土) 17時10分より カフェ・クロスロードにて
懇親会参加費 3,500円

【お問い合わせ】

E-mail: nobukos@vega.aichi-u.ac.jp

TEL: 052-564-6111 FAX: 052-564-6211 (代表)

愛知大学経済学部 清水 伸子 研究室



愛知大学
AICHI UNIVERSITY